

## 自然の恵みを満喫 山海里・秋の収穫祭

11月11日、リトリートたくらで山海里・秋の収穫祭が開かれました。旬の野菜や魚介類、自慢のそば、山菜おこわやもちなどの模擬店が並んだほか、南越前町特産品が当たる抽選も



ちまきやそば早食いコンテスト、アカタン砂防えん堤見学ツアーなどが催されました。

また、海の幸・山の幸振舞では、しし肉の炭火焼きや、新鮮な野菜とカニをベースにした海鮮鍋、野菜としし肉を田舎味噌で煮立てたしし鍋が振舞われました。訪れた人たちは、自然の恵みを満喫しながら、海や山の幸を楽しんでいました。



## 寒くなるね、火の用心 防火茶屋

秋の火災予防運動週間が始まった11月9日、南越消防組合南消防署が同署前で防火茶屋を開きました。

防火茶屋には、同署員や町の幼年消防クラブ員の湯尾保育所の園児、南越前町PR隊が参加し、同署員手作りのミニわらじや拍子木などをドライバーに手渡しました。保育所の子どもたちが「火の用心。気をつけてね」とドライバーに声をかけると、「はい、気をつけようね。ありがとう」と受け取っていました。



## 防火意識を高めて フレッシュ防火教室

秋の火災予防運動期間中の11月14日、南越消防組合南消防署で、フレッシュ防火教室が開かれ、町内の事業所から41人が参加しました。

これは、防火に対する意識の高揚を目的に、勤続年数が比較的短い従業員の人たちを対象に開かれ、119番通報訓練や屋内消火栓、消火器を使用した初期消火訓練、起震車による地震体験なども行われ、参加者らは予測のできない災害などに備えていました。



## 明るく楽しく LOVE LIFE LIVE

11月17日、南条文化会館で、研ナオココンサートが開かれ、約470人が詰め掛けました。

コンサートでは「私の歌手活動として35周年となるアニバーサリーコンサートです。短い時間ですが一緒に楽しみましょう」とあいさつし、「愚図」や「LA-LA-LA」「かもめはかもめ」など数々のヒット曲を披露、コンサート後の握手会でも親しげにファンと言葉を交わすなど、楽しいおしゃべりとすてきな歌声で聴衆を魅了しました。

## 研ナオコ コンサート



## 大自然の恵みと環境の大切さ実感 夜叉ヶ池とヤシャゲンゴロウエコツアー

10月14日、エコ・ツーリズムの浸透を図ろうと「夜叉ヶ池とヤシャゲンゴロウエコツアー」が行われ町内外から18人が参加しました。人工で生育を試みている青少年育成センターときめきで、ヤシャゲンゴロウを育てる会の奥野会長からヤシャゲンゴロウの生態について説明を受け、その後、夜叉ヶ池パトロール員の会の川崎正俊さんの登山に関するマナーや、群生植物の説明を聞きながら夜叉ヶ池に登りました。

池では、ヤシャゲンゴロウが姿を見せ、参加者らは写真を撮ったり、泳ぐ様子などを間近に見ながら観察していました。参加者らは「ヤシャゲンゴロウと大自然に触れながら、自然の魅



力を肌で感じ取り、自然保護と環境保全の大切さを実感した」と話していました。



## 水仙まつりをPR 水仙娘表敬訪問

第33回目を迎える水仙まつりを県内外に広くPRし、越前海岸のイメージアップの一役を担う3人の水仙娘が、10月24日南越前町に表敬訪問に訪れました。

かすり姿に赤いたすき、姉さんかぶりに脚半というお馴染みの衣装に身を包んだ3人の水仙娘は、「11月の終わりから、石川・富山を皮切りに、中京や関西、東京へ水仙まつりの出向宣伝に出かけます。越前かにも県花水仙の魅力をPRしてきます。」と元気に話していました。



## 北陸線跡をたどり

### 旧国鉄北陸線ウォーキング大会

10月28日、45年前(昭和37年)まで、蒸気機関車が走っていた道をウォーキングする、旧国鉄北陸線ウォーキング大会が行われ、県内外から約230名が参加しました。

前日までの雨も上がり天気にも恵まれた秋晴れとなり、30kコース、22kコース、15kコース、9kコースの4コースに分かれスタートし、なつかしい旧北陸線跡を歩びながらウォーキングを楽しみました。



## 地震を想定し 南越前消防団秋季消防訓練

10月28日、今庄中学校およびJR今庄駅前一帯で、南越前消防団の秋季消防訓練が行われました。

木ノ芽峠付近を震源とする直下型のマグニチュード7の地震が発生したと想定のもと実施。立石区と観音区の住民をはじめ、自警消防隊、消防団、消防署員など約150名が参加しました。

参加者は、消防自動車による火災防ぎょ訓練、救助工作車やエアテントなどを使った救急救助訓練に真剣に取り組み、防災に対する意識を新たにしていました。

